

図書館だより

12月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	㉓	㉔	25
26	㉗	28	29	30	31	

印刷 休館日  
月曜日・祝日(23日)・月末館内整理日(24日)  
年末年始休館日(12月28日～1月5日)

今月の新刊図書案内

一般図書

すぐ使える一太郎10 小野勝彦  
親子で遊ぼう!!おもしろ博物館  
娘の結婚運は父親で決まる  
目からウロコの世界史 岩月謙司  
「生きる」を考えると 島崎 晋  
NHK出版  
東海道五十三次を歩く

満足できる格安温泉宿200軒

成美堂出版編集部

アメリカの怖さを知らない日本人

日高義樹

この国の八百長を見つけたり

中村敦夫

裁判官は訴える!

日本裁判官ネットワーク

甘やかされすぎること私たち

クライン孝子

不眠な人々

矢崎葉子

発掘!あるある大事典3

超かんたんインターネット検索

あつたか食べるみそ汁

おいものスナック・おやつ

図解日本の庭

斎藤忠一

女探偵はやめられない

渡邊直美

世界遺産の旅

スター誕生

落ちこぼれてエベレスト

吉田 司

どんどん橋、落ちた

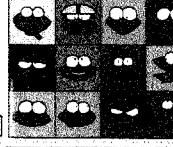
野口 健

綾辻行人

『数学屋台』

芳沢光雄 著 実業之日本社  
「数学は役に立たないつまらないもの」という考えは誤りである。じゃんけんの勝利法など身近な内容を数学的視点から解説。「拒数症」の人々をあたたく癒す一冊。

『どうするの?こんな時』



『どうするの?こんな時』

リンダ・シュワーツ 著  
河合楽器製作所・出版事業部  
火事、電気コンセント、いたずら電話、駐車場、台風、ナイフ、犬にかまれた、鼻血、やけど、雷…。家、学校、近所、外出中に出会う危険を回避する方法を考える。ナショナル・ベアレンディング出版賞受賞。



深川恋物語 宇江佐真理  
夜を待ちながら 北方謙三  
Pの密室 島田莊司  
青二才の頃 清水義範  
理想の人生 三木 卓  
鳥少年 皆川博子  
アメリカ彦蔵 吉村 昭  
女学生の友 柳 美里  
この日、この空、この私 城山三郎  
すつぴん魂・愛印 室井 滋  
盟約 上・下 C・W・ニコル  
ボーン・コレクター 城山三郎  
ジェフリー・ディーヴァー 室井 滋  
告発者 ジョン・モーターマー 室井 滋  
ひまわりの森 トリイ・ヘイデン 室井 滋  
外二七冊

児童図書  
失敗はチャンスだ!  
わたしの夢、わたしの人びとの苦しみ  
わたしのひみつ  
葉の裏で冬を生きぬくチョウウ  
ぼくたちのまちづくり 1-4  
木の実ノート  
K&P  
だいあもんど  
だめ犬フーフー  
おねがいはウィッシュポーンで  
風をつむぐ少年  
あしなが  
くーくーねむりんこ  
くまさんのおなか  
きんいろのとき  
つきにでかけたおんなのこ  
外八七冊

心の健康シリーズ(80)

「ほめること」

「叱ること」

育児の中で「ほめること」と「叱ること」があります。

親には「こんな子に育ってほしい」と考えている理想があります。

子どもの行動が親の理想に合わない時に叱り、合致した時にはほめます。子どもはこれを通して、何がよいことで、何が悪いことであるかを学んでいきます。

従って「ほめること」も「叱ること」も重要な教育の手段なのです。

「ほめられる」と言うことは子どもにとつて認められたことであり嬉しいことです。なかでも結果に至るまでの努力によつて達成され、それが認められ、ほめられた時の喜びは達成感とともに大きな喜びとなります。

「ほめる」ということは相手に自信を持たせ、意欲を高揚させると同時に、ほめてくれた人への親しみと好意を高め、優しさが育まれます。

「三つほめて一つ叱る」とか言われますが、あなたは「ほめる」と「叱る」のはどちらが多いですか。

「叱る」ということは、教育的見地から必要なことではあります。が、叱り方を間違えると子どもの心を傷つけ、意欲を減退させ、劣等感をうえつけ、さらに相手に反感を抱かせ、立ち直りにくくしてしまふ危険性をも持っています。

叱ったり、注意する時、いきなり叱らず、子どもの話を良く聞き、子どもの気持ちや立場を考えながら、子どもが素直に自分が悪いことを認める叱り方をしなければ叱る効果はありません。

叱る時の留意点を挙げますので、参考にして下さい。

①何を叱るかはつきりさせる。社会的、道徳的規範に反する行為や人命に係わる行為は何をおいても禁止させる。

②いけない行為は、すぐその場で叱る(注意する)。叱られていることが分かり、納得できる叱り方を要する。

③同じことを繰り返し幾度も叱らない。母親が叱つたのに、また父親に叱らせるようなことは子どもの自尊心を傷つけ、反感を抱かせる結果となる。

④叱ることは両親、祖父母など大人の一貫性がなくてはならない。

⑤家庭で叱ることを他人(先生や親戚の人)に叱らせてはならない。

⑥叱り方も相手の年齢や性格によつて違った方法を工夫しなければならぬ。

ほめたり、叱ったりするのは、親の愛情が基本になくてはなりません。それを通して子どもは善悪を身につけ、正しく判断ができる子に成長するのです。

子どもの悩みとは

教育相談室へ

(八朔屋台展示庫前)

月一金 午前9時

午後4時30分

☎(43)1323